



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学国際法政策センター主催セミナー 太平洋の小さな島国と気候変動

—— 気候変動問題の現状と国際社会の動向を考える

2024

3/12 火

16:00～18:40 ハイブリッド開催
(対面・Webinar共に要申込)

東北大学片平キャンパス
知の館

現在、環境問題のうち特に気候変動問題への関心が高まっており、
国際社会での取り組みが強調されるようになっていきます。

国連が設定した持続可能な開発目標(SDGs)において、目標13では気候変動に具体的な対策が求められ、
また目標14では海の豊かさ、目標15では陸の豊かさを守るための取り組みが強調されています。

そうした中で注目されるのは、気候変動から真っ先に影響を受ける島嶼国です。

島嶼国は気候変動問題の当事者として、これまで国際社会における問題への取り組みを主導してきました。

そこで東北大学国際法政策センターでは、気候変動が島嶼国に与える影響について検討を行うイベントを開催します。

東北大学の異なる分野の専門家が集まり、島嶼国における気候変動について多角的に分析を行います。

- 司会 / 植木 俊哉 (東北大学理事・副学長／国際法政策センター長)
- 登壇者 / 成澤 みく (東北大学大学院環境科学研究科／東北アジア研究センター博士課程)
- 杉本 周作 (東北大学大学院理学研究科／災害科学国際研究所 准教授)
- 山下 毅 (東北大学国際法政策センター学術研究員)

プログラム (実際の内容は記載内容と異なる場合があります)

- 15:30 開場
- 16:00-16:05 開会の挨拶 植木俊哉 (東北大学理事・副学長／国際法政策センター長)
- 16:05-17:05 基調報告 成澤みく (東北大学大学院環境科学研究科／東北アジア研究センター博士課程)
「COP28で見た海を守る島国の現状～パラオ共和国の事例から～」
- 17:05-17:35 講演① 杉本周作 (東北大学大学院理学研究科／災害科学国際研究所 准教授)
「島嶼国日本を脅かす気候変化 ～激甚化する大気・海洋環境～」
- 17:35-18:05 講演② 山下毅 (東北大学国際法政策センター学術研究員)
「気候変動に関する国際海洋法裁判所勧告的意見
～小島嶼国による国際裁判を用いた気候変動問題への取り組み～」
- 18:05-18:40 パネルディスカッション、質疑応答
- 18:40 閉会



成澤 みく 東北大学大学院環境科学研究科／
東北アジア研究センター博士課程
ハワイ大学マノア校平和紛争解決学卒業。
明治大学教養デザイン研究科修了(平和環境)。
専門は海洋環境人類学・環境倫理学。
パラオ共和国海洋環境アドバイザーとして、国連
気候変動会議COP28に出席。環境教育プログ
ラムを運営する一般社団法人ODYSSEYの共同
代表も務める。



杉本 周作 東北大学大学院理学研究科／
災害科学国際研究所 准教授
東北大学理学部宇宙地球物理学科卒業。
東北大学大学院理学研究科修了。
博士(理学)。
専門は海洋物理学。



山下 毅 東北大学国際法政策センター学術研究員
上智大学法学部国際関係法学科卒業。
神戸大学大学院法学研究科修了。博士(法学)。
専門は国際法・国際紛争処理法。

参加希望者はQRコードからお申し込みください。

対面参加者用



<https://forms.gle/SRQ1eXeiFIg953hP8>

Webinar登録用



<https://qr.paps.jp/uXEkz>

申込締切: 2024年3月11日(月)17:00

主催



Center for International
Law and Policy
東北大学国際法政策センター

お問合せ

東北大学国際法政策センター cilp@grp.tohoku.ac.jp